

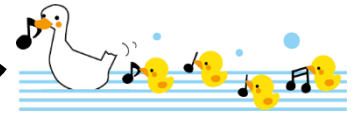
Challenge



龍ヶ崎市立城西中学校
第1学年 学年通信 No.9
2021. 11. 29
文責 中村 依利香

いろいろ

彩 ～三原色を1つの音色に～



11月5日(金)、体育館で合唱祭が行われました。自分の学年以外は、教室でモニターを通じての鑑賞となりました。1年生は緊張している様子でしたが、そのクラスらしく歌い上げることができていました。歌い終わった後は、ほっとした表情の生徒が多かったように感じます。優秀賞は2組が獲得しましたが、どのクラスもみんながひとつの同じ目標に向かって努力をするという貴重な経験ができたと思います。今回、みんなで一生懸命に歌ったことを、大切な思い出として心にとめておいてもらいたいです。各クラス1名、一部抜粋で感想を紹介します。いろいろなことを感じられたのですね！

僕には、この合唱祭で学んだことがあります。まず思ったことは、合唱祭には団結力が必要だということです。そう思った理由は、合唱祭は、力を合わせて大きな声を出しながらきれいな音色を出す、各パートの役割を考えるなど、いろいろなことを協力するしかないからです。次に思ったことは、練習についてです。僕は、いつも練習は裏切らないという言葉が胸に練習に励んできました。たくさん練習ができたので、悔いはないです。賞が取れなくても良いと思えました。この合唱祭でいろいろな勉強になったのでこれを2年生で活かしていきたいです。

(田畑 幹太さん)

私がこの合唱祭で大切だと思ったのは、「団結力を高めること」「自分にできることを精一杯やること」の2つでした。声が小さかったら積極的に声を出し、音程が不安だったらまわりに合わせてみたり、声が出ていないことが課題のソプラノをどうにかして変えようと行動できました。練習・本番、自分の力を出し切ることに精一杯を尽くせたと思います。そんなみんなの思いが歌にのり、優秀賞をとることができました。「結果が全てじゃない」と思っていたけど、結果を聞いた時、とてもうれしく、そしてこのクラスで歌えたことを誇らしく思えました。

(伊野 帆乃花さん)

私はこの合唱祭を通し、いろいろなことを学びました。始めは、自分が指揮をやるなんて考えもしないことでした。最初はリズムもバラバラでメロディーもごちゃごちゃしていて、ここから合わせるとなると難しいと感じました。途中、指揮を間違えると責任とプレッシャーを感じ、もうやめたいと思うこともありましたが、でも、練習を続けるうちにできなかったところができるようになったり、合わなかったところやズれていたところがなくなるようになっていきました。どんどん声が出るようになり、指揮をやりながらきいているときれいな音色がきこえてくるようになりました。優勝はできなかったけれどいい思い出になりました。指揮をやってよかったと思える合唱祭になりました。

(藤田 瑠美さん)



参観日

お世話になります

12月10日(金)午後、授業参観があります。感染症対策のため、分散での参観をお願いしております。5校時は1組で国語、3組で数学を、6校時は2組で理科を公開します。よろしければ、お子さまが学習に取り組む様子をご覧ください。※懇談会の開催はありません。

スキー宿泊学習に向けて...!!

令和4年2月13日(日)～15日(火)に、1・2年生合同でスキー共同宿泊学習に行く予定です。それにともない、先日、参加確認書を配付いたしました。参加確認書のしめ切りが、11月30日(火)までとなっております。旅行会社に参加人数をお伝えして、払込票の金額が確定されますので、期限内に提出していただきますよう、ご協力お願いいたします。払込票は12月中旬頃生徒を通じてお渡しする予定です。

12月の行事予定

- 6日(月) 短縮日課
- 10日(金) 授業参観(午後)
- 13日(月) 委員会
- 14日(火) テスト前部活停止(～15日)
- 16日(木) 第3回定期テスト
- 17日(金) 生徒会役員選挙立会演説会・投票
- 23日(木) 短縮日課
ワックスがけ
- 25日(土) 冬季休業開始
- 27日(月)～1月3日(月) 学校閉庁日

新人戦結果

お疲れ様
でした!!

男子バスケ	×城西一中根台○ ×城西長山○	×城西一城ノ内○ ○城西一城南×
女子バスケ	○城西一中根台× ○城西長山×	準優勝 ○城西一城南× ×城西一愛宕○
サッカー	×城西長山○	3位 ○城西一城ノ内・中根台×
男子テニス	団体 個人 第3位	準優勝 平岡・門馬ペア 久保木・水野ペア
女子テニス	団体 個人 第3位 第8位	4位 長尾・中島ペア 坂本・渡部ペア
卓球	男子個人 第6位 女子個人 第3位 第5位 第6位 男子団体 女子団体	高野 世名 鷺澤 かのん 永野 奏音 参木 愛莉 3位 3位
剣道	女子個人 第1位 第2位	荒井保映 大竹由真